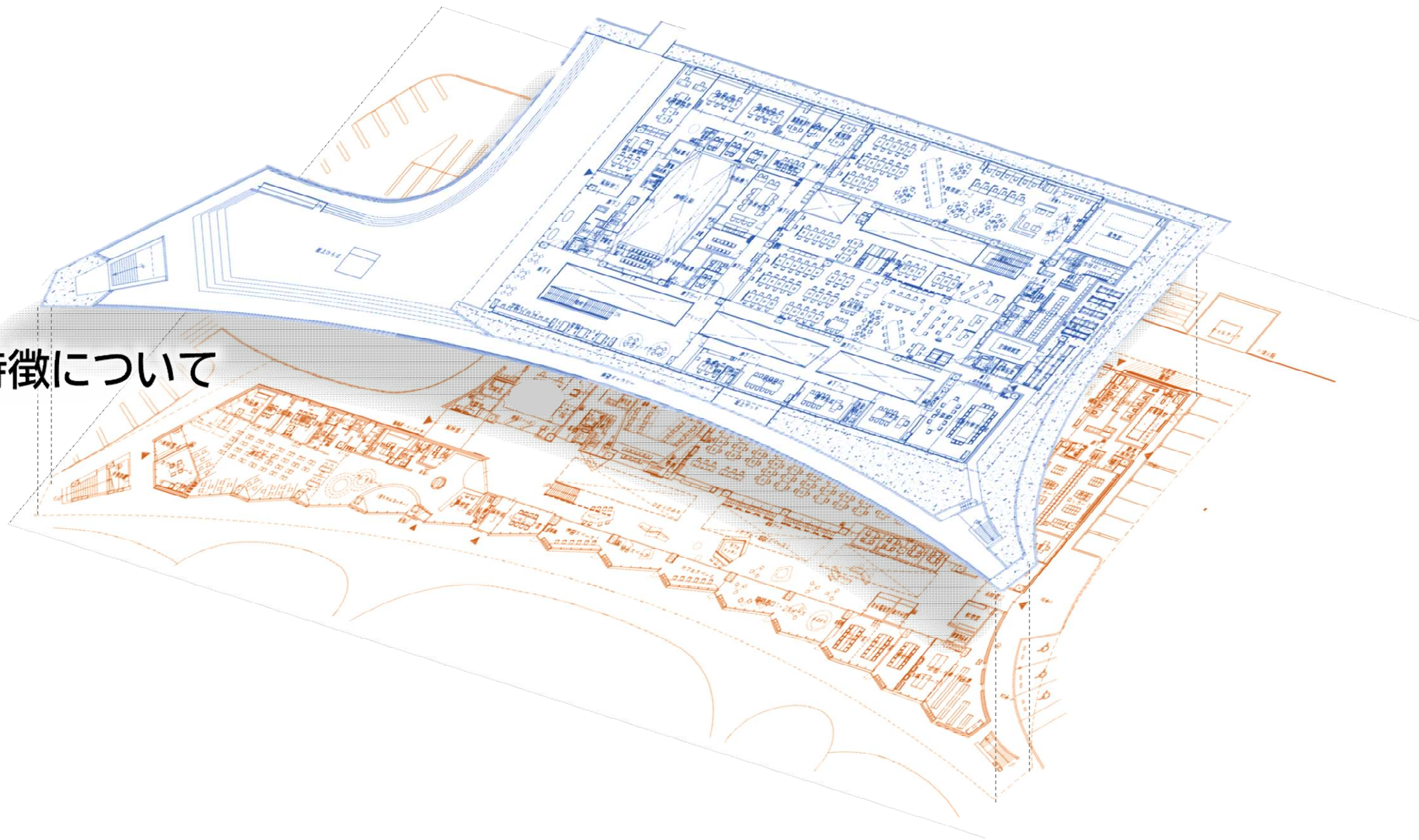




本庁舎実施設計について

主な機能・特徴について

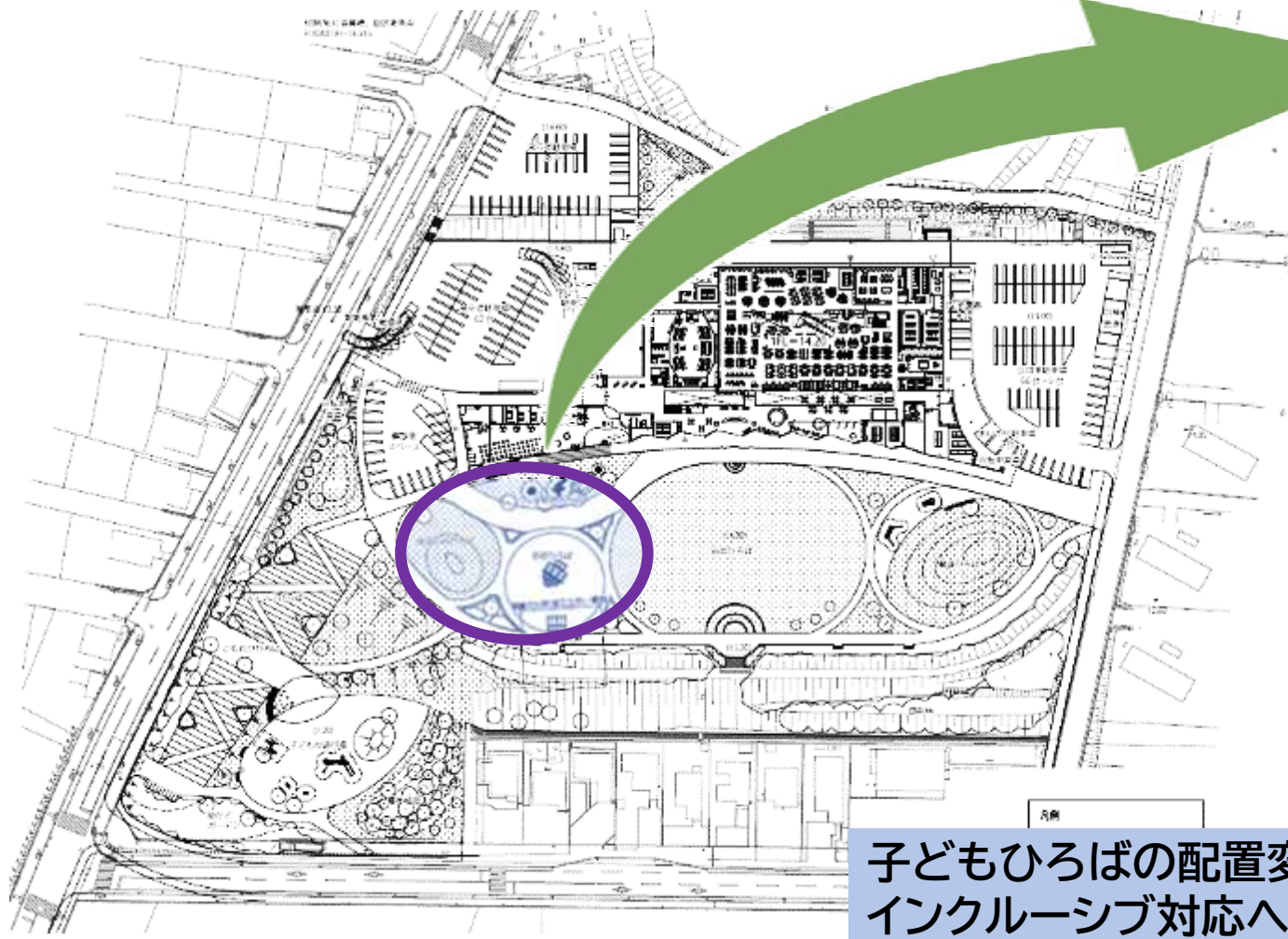


1 面積等	
(1)敷地面積	約33,928㎡(公園含む。)
(2)庁舎床面積	合計の床面積:約6,991㎡(1階床面積:約4,381㎡、2階床面積:約2,610㎡)
(3)主な用途別面積	執務室:約6,142㎡、子育て支援エリア:約551㎡、金融機関:約244㎡
(4)構造・階数・高さ	鉄筋コンクリート造・2階建・最高の高さ約12.9m
2 機能・特徴等	
(1)主な来庁者向け機能	ワンストップ窓口、市民ロビー(学習スペース、ミーティングスペース)、オールジェンダートイレ
(2)環境への取組	Nearly ZEB仕様、太陽光パネル約311kw、蓄電池約13.5kwh
(3)災害への取組	非常用自家発電機(灯油式)・約400kVA(停電時3日間対応可能) 停電時の太陽光発電パネル利用(公用車EV普通充電器、市民ホールコンセントへ電源供給) 受水槽・雑排水槽・汚水槽の設置(3日間対応可能)
3 外構	
(1)公園(庁舎南面)	障がいの有無や性別などを問わず誰もが遊ぶことができるインクルーシブな「幼児・こどもひろば」、バスケットボールやローラースケートを楽しめる「ストリートスポーツひろば」、健康遊具を利用できる「健康ひろば」など多世代が利用可能な公園を整備
(2)災害への取組	津波災害等の避難路となる「ステップひろば」や高台避難場所となる「市民ひろば」を整備 災害時に利用可能な「マンホールトイレ」を5箇所整備
(3)駐車場	来庁者駐車場 100台(うち車いす使用者・妊婦等に配慮した「思いやり駐車場」7台) 公用車駐車場 68台(うち「思いやり駐車場」3台)

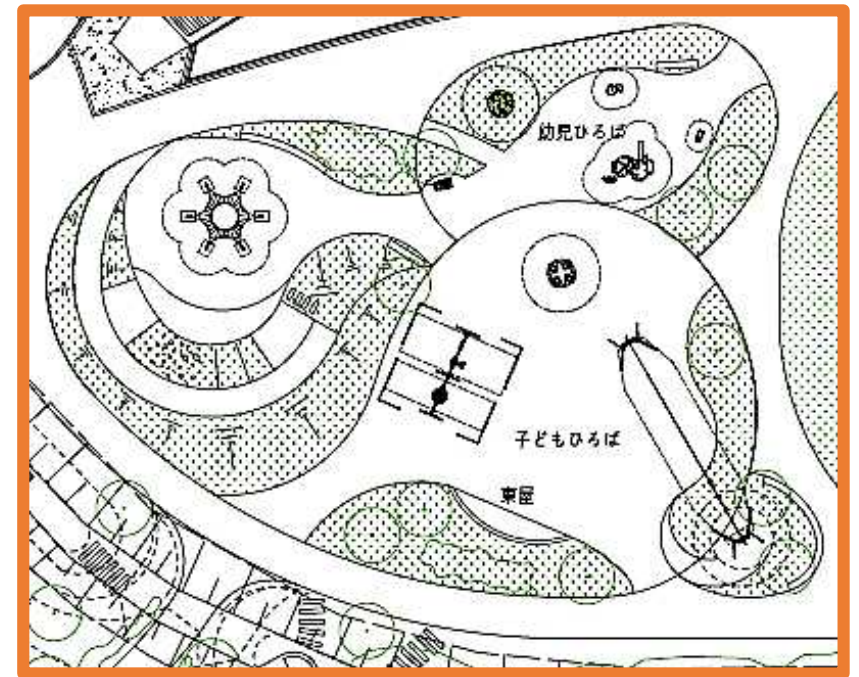
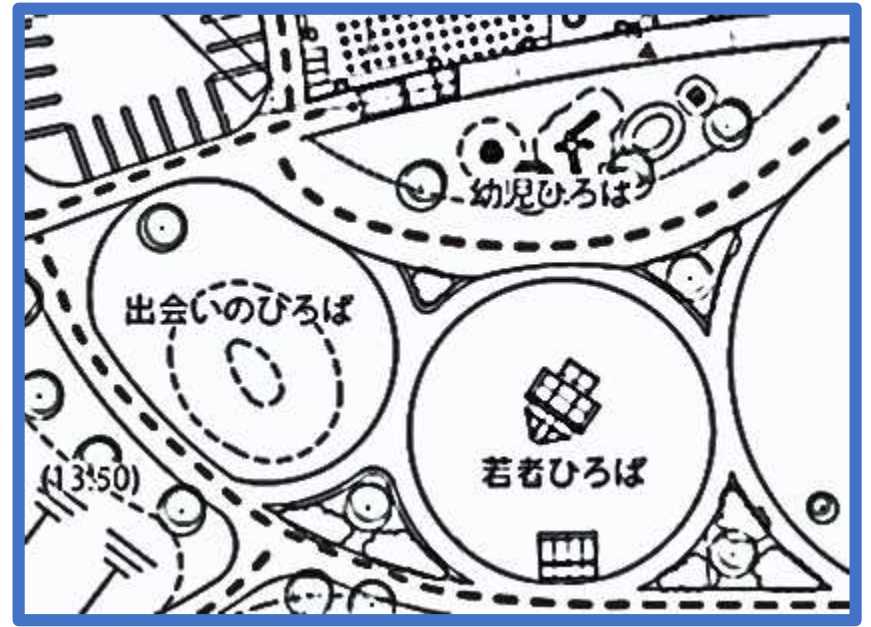
基本設計からの変更点について 配置計画(外構)

基本設計 → 実施設計

幼児・子どもひろばを集約し
インクルーシブへ対応

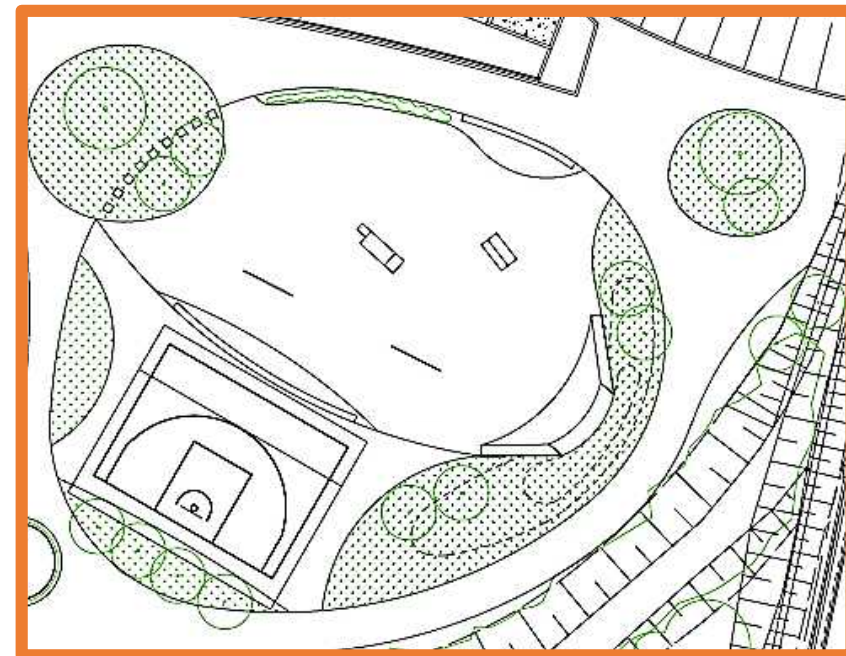
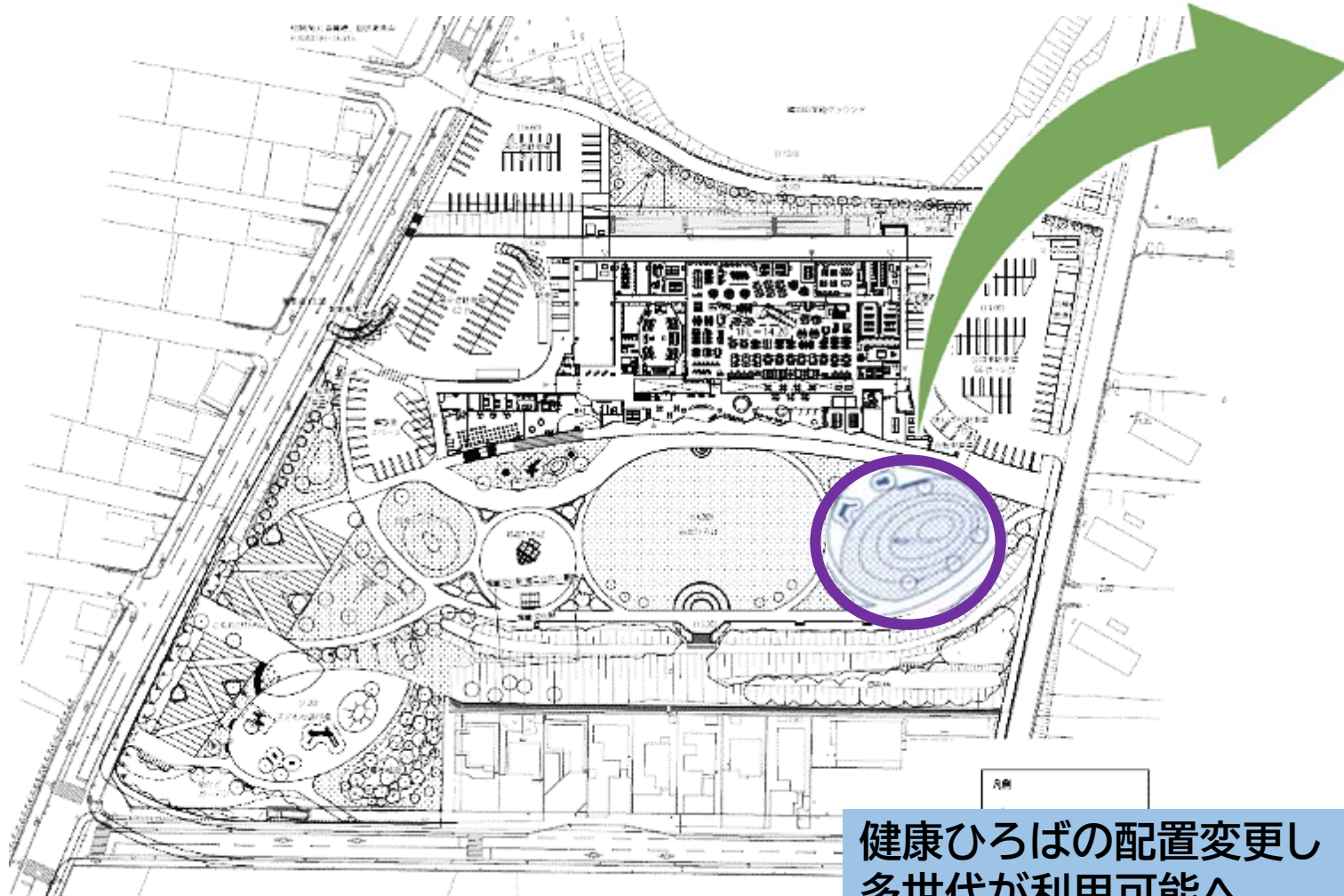


子どもひろばの配置変更し
インクルーシブ対応へ



基本設計 → 実施設計

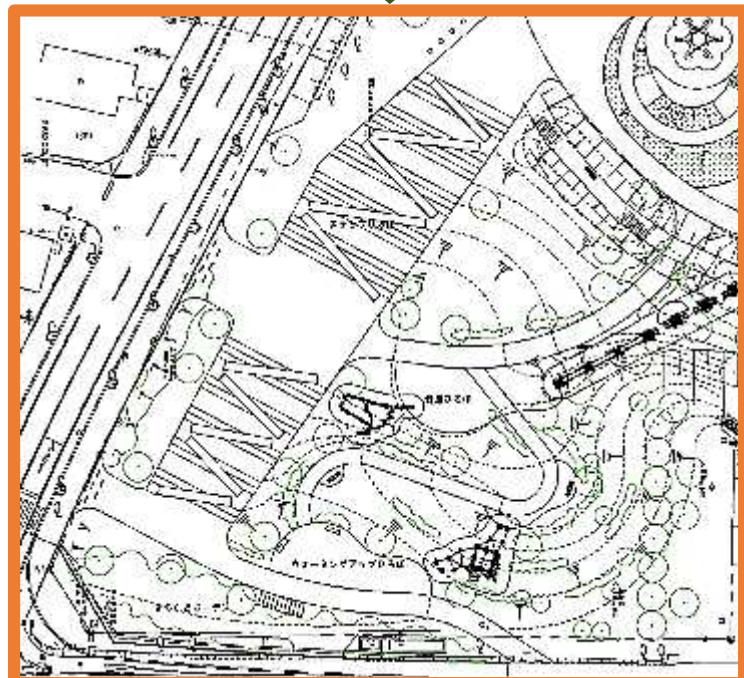
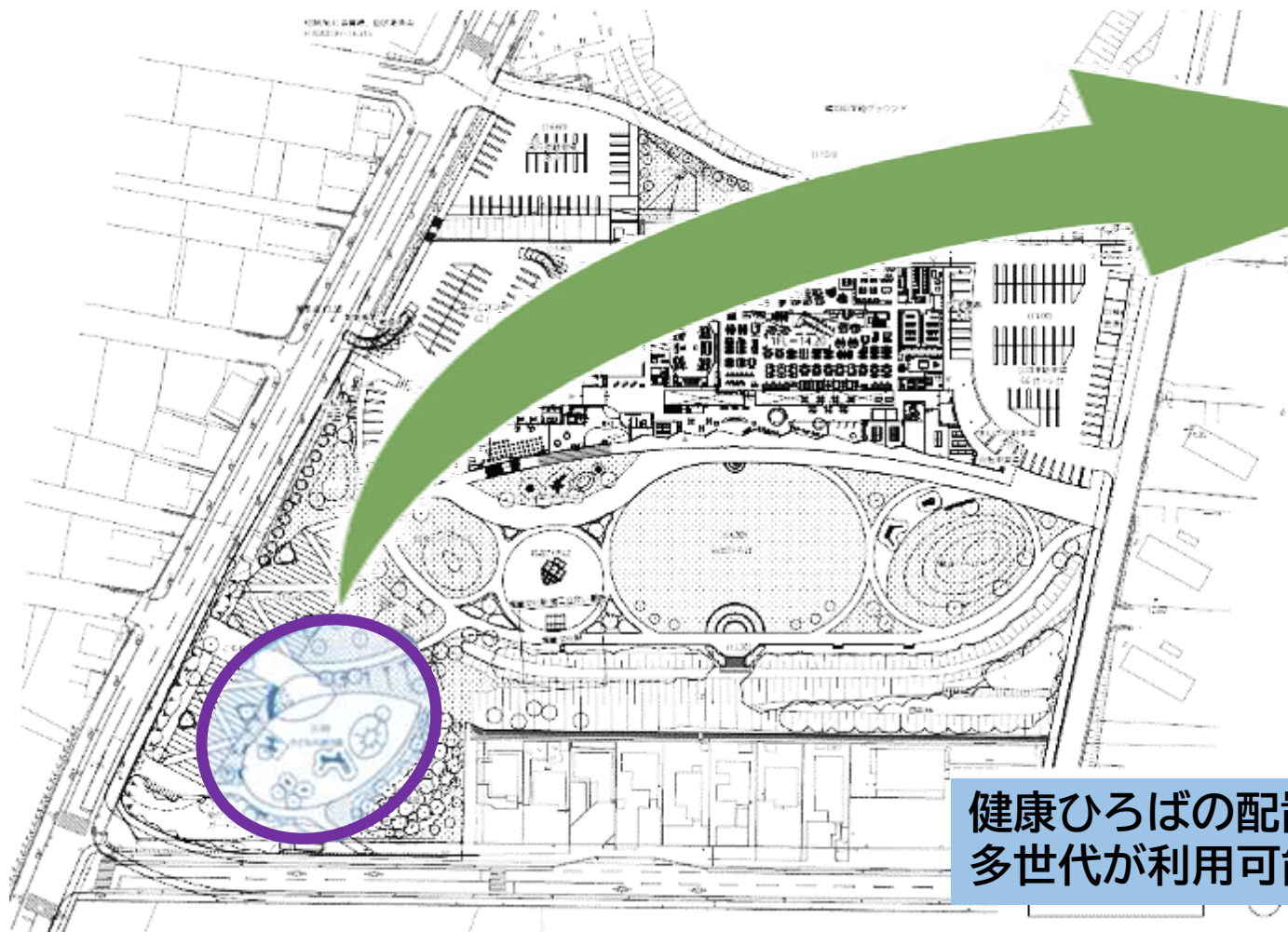
健康ひろばをストリート
スポーツひろば



健康ひろばの配置変更し
多世代が利用可能へ

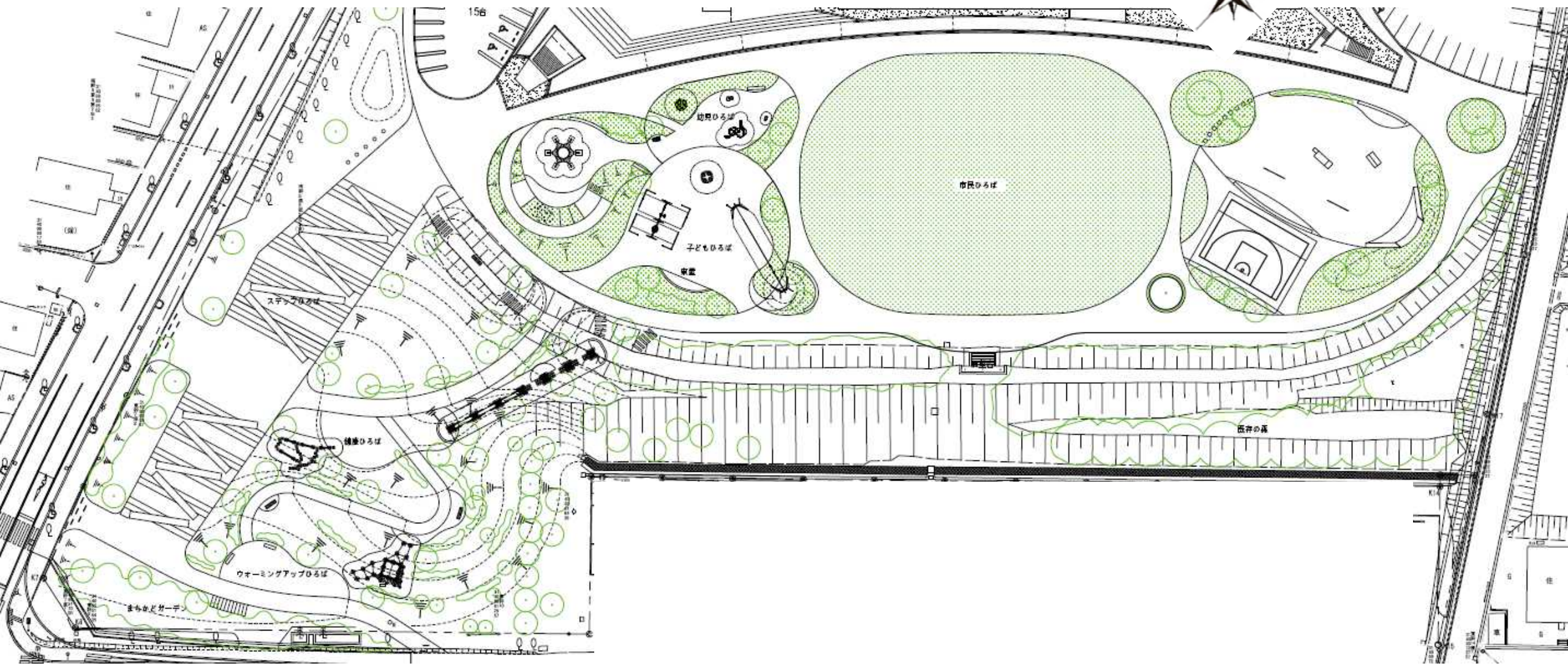
基本設計 → 実施設計

こどものひろばを健康ひろば



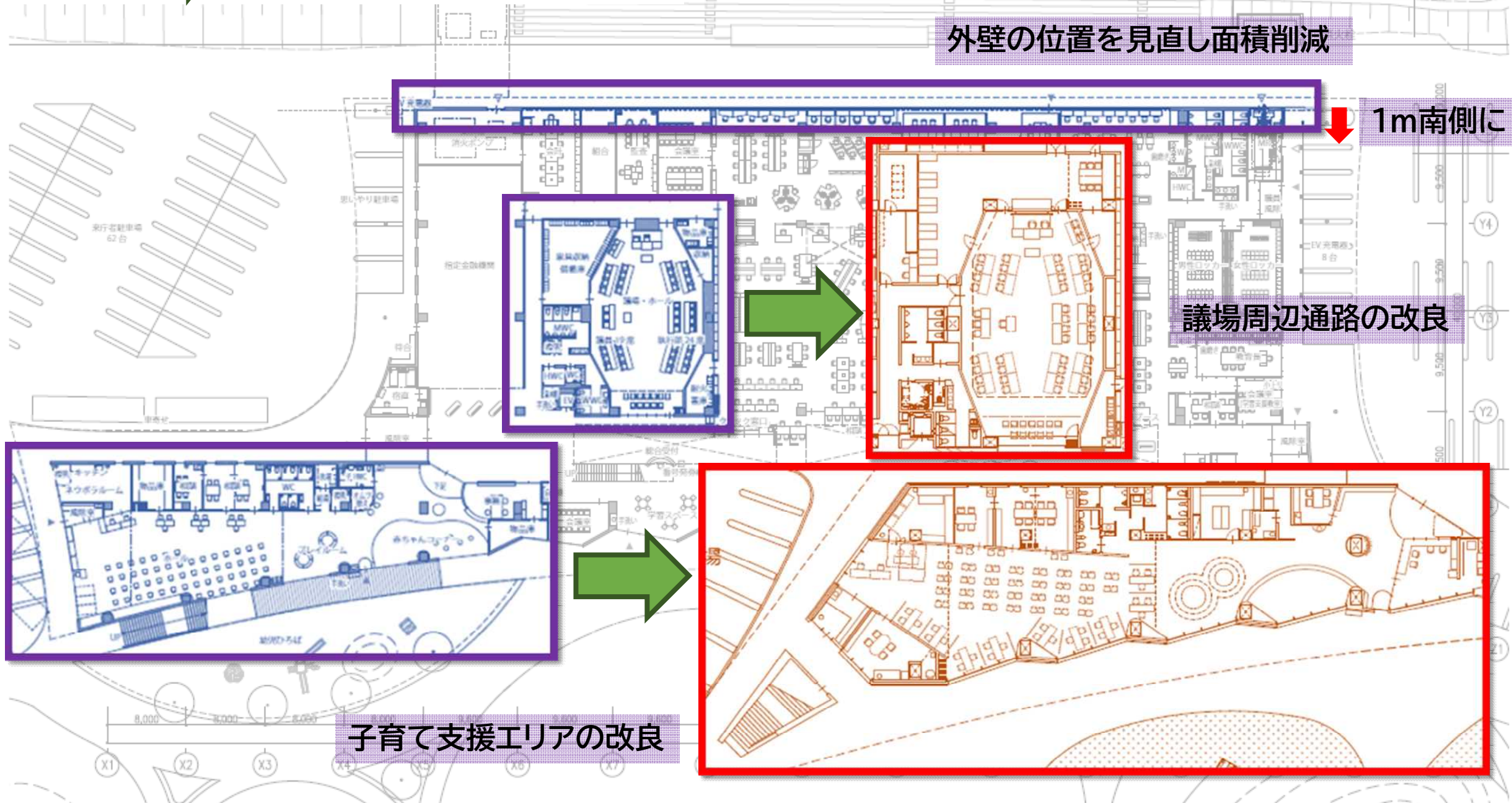
健康ひろばの配置変更し
多世代が利用可能へ

実施設計(外構)

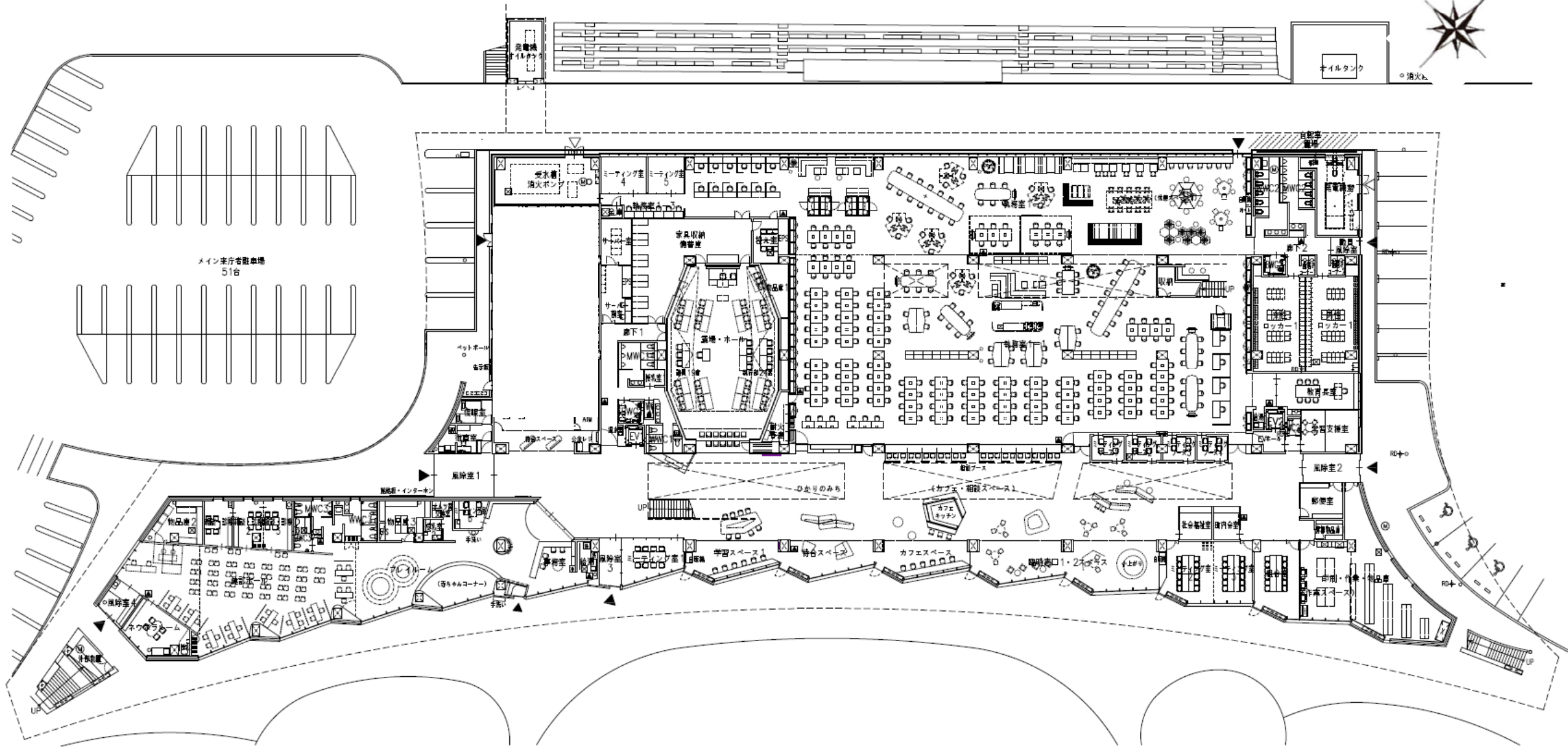


基本設計からの変更点について
平面計画(建物内)

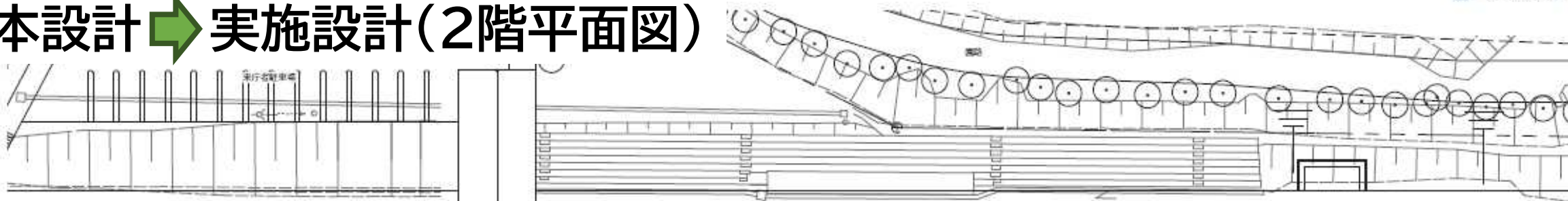
基本設計 → 実施設計(1階平面図)



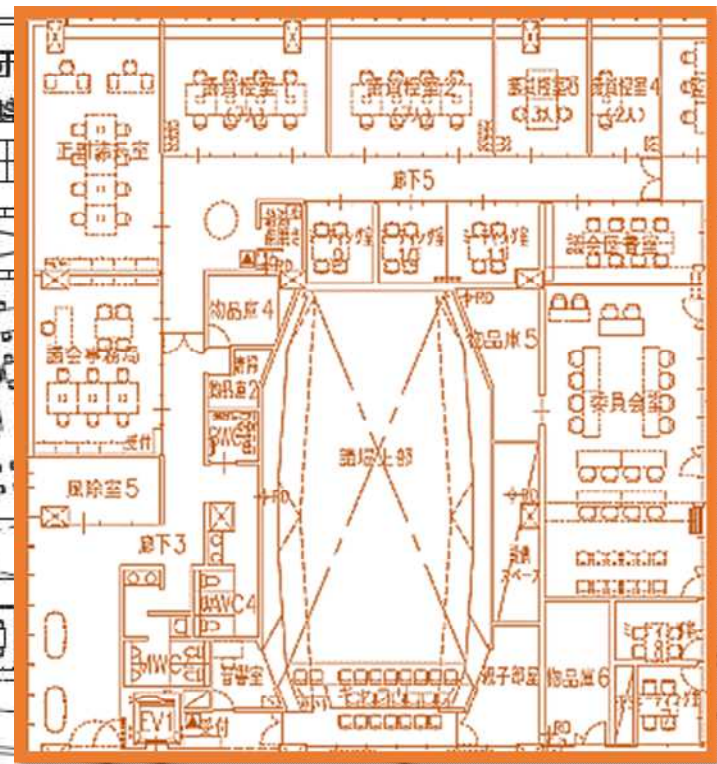
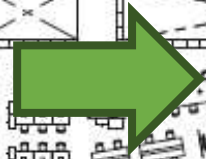
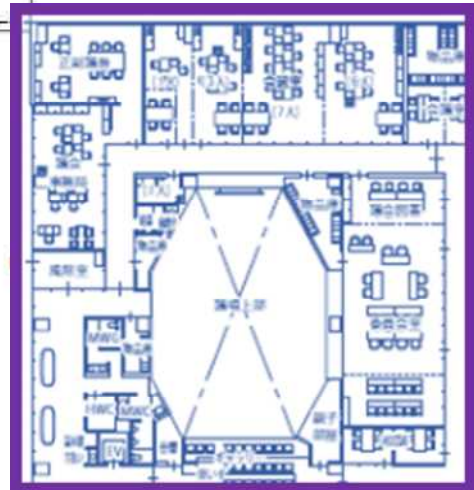
実施設計・1階平面図



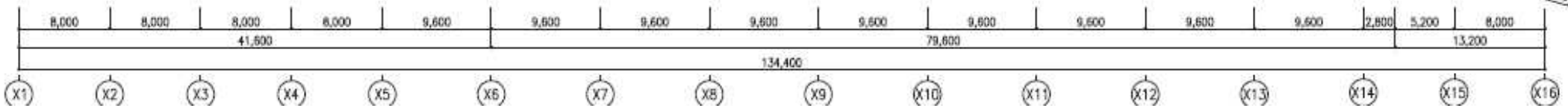
基本設計 → 実施設計(2階平面図)



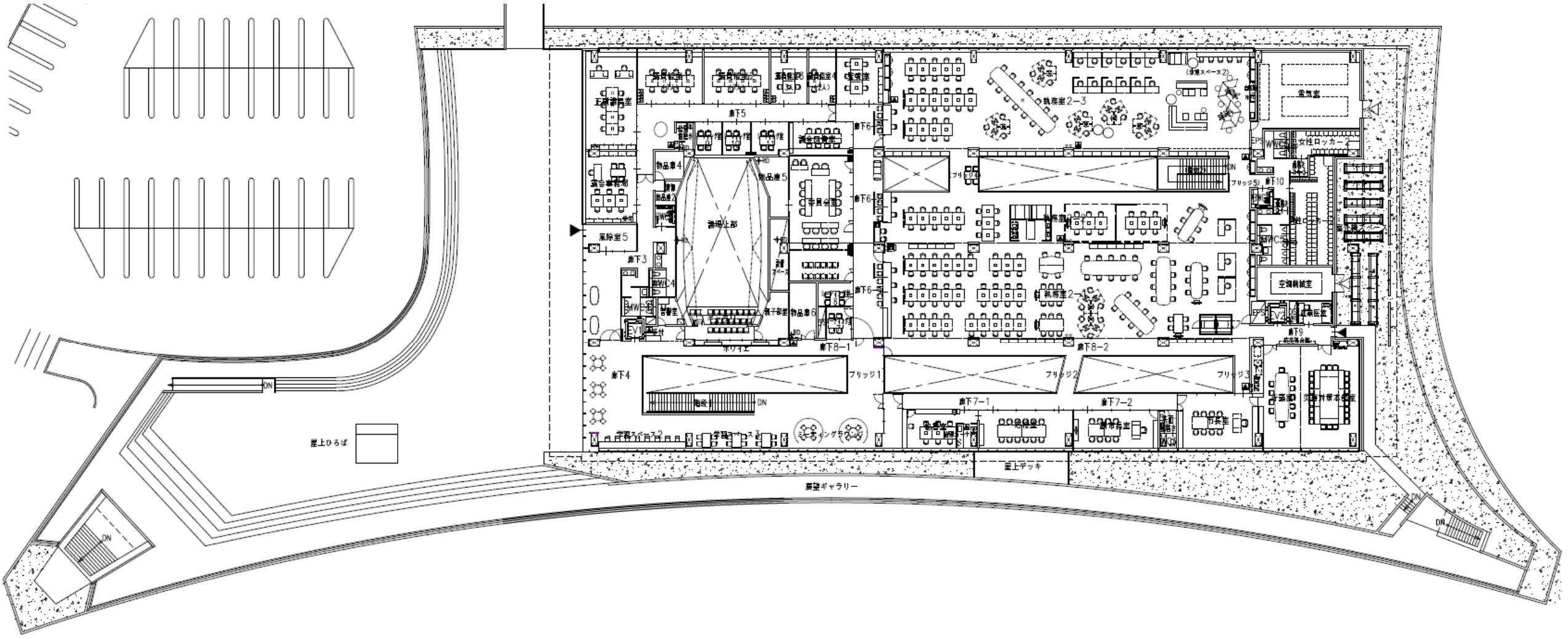
正副議長室等の配置



委員会室・親子部屋等の配置



実施設計・2階平面図



外観・内観イメージについて

外観イメージ図

1



2



中学校通りから正面玄関



「市民ひろば」と「学習スペース庇」

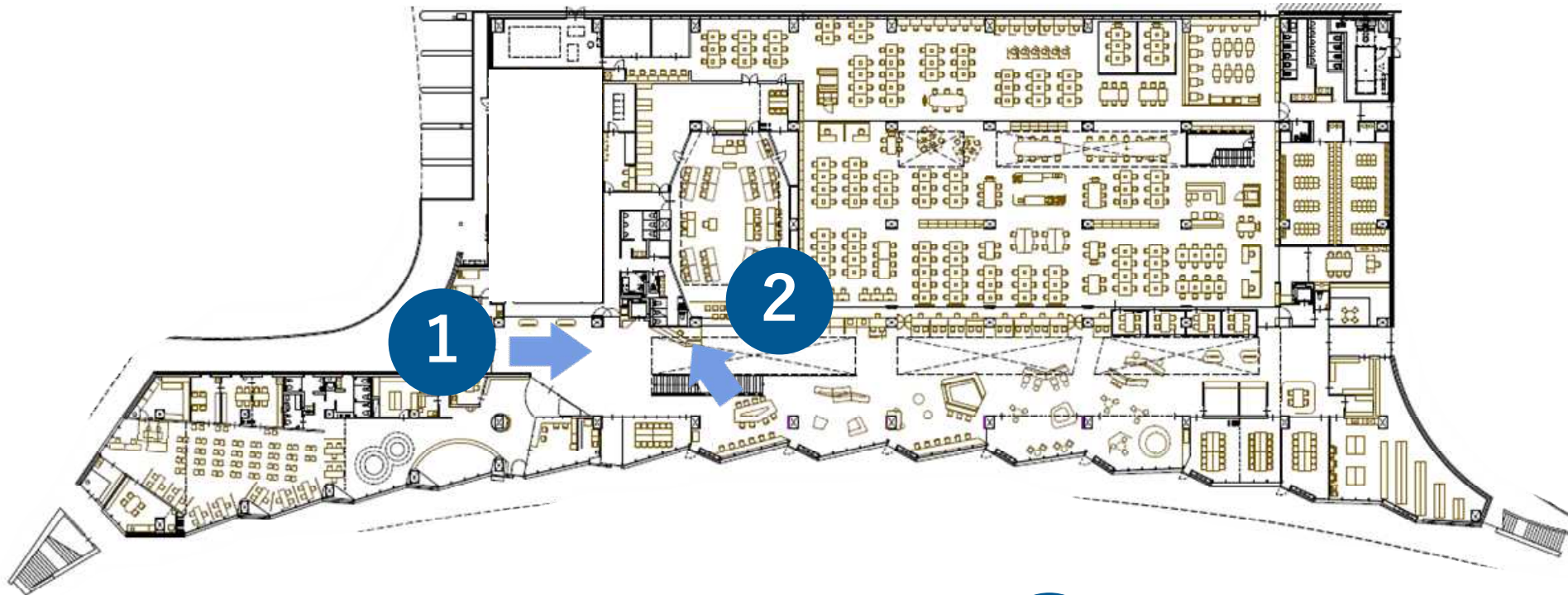
外観イメージ図



「展望スペース」と「屋上テラス」



展望ギャラリー



1階エレベーターホール



1階総合受付

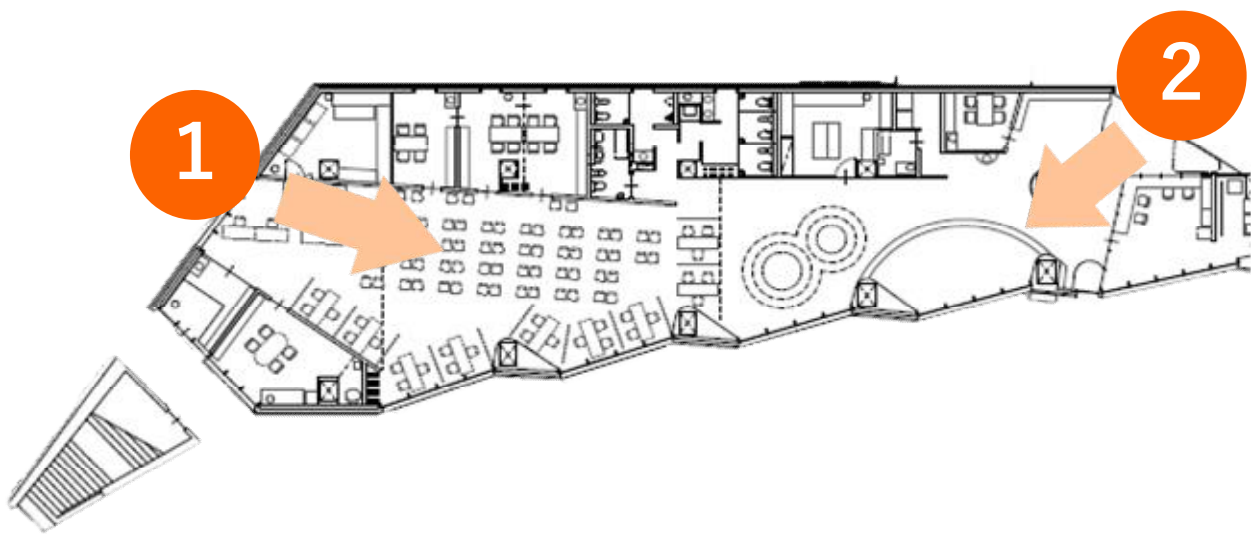
2階ミーティングラウンジ



1階市民ホール



1階子育てエリア



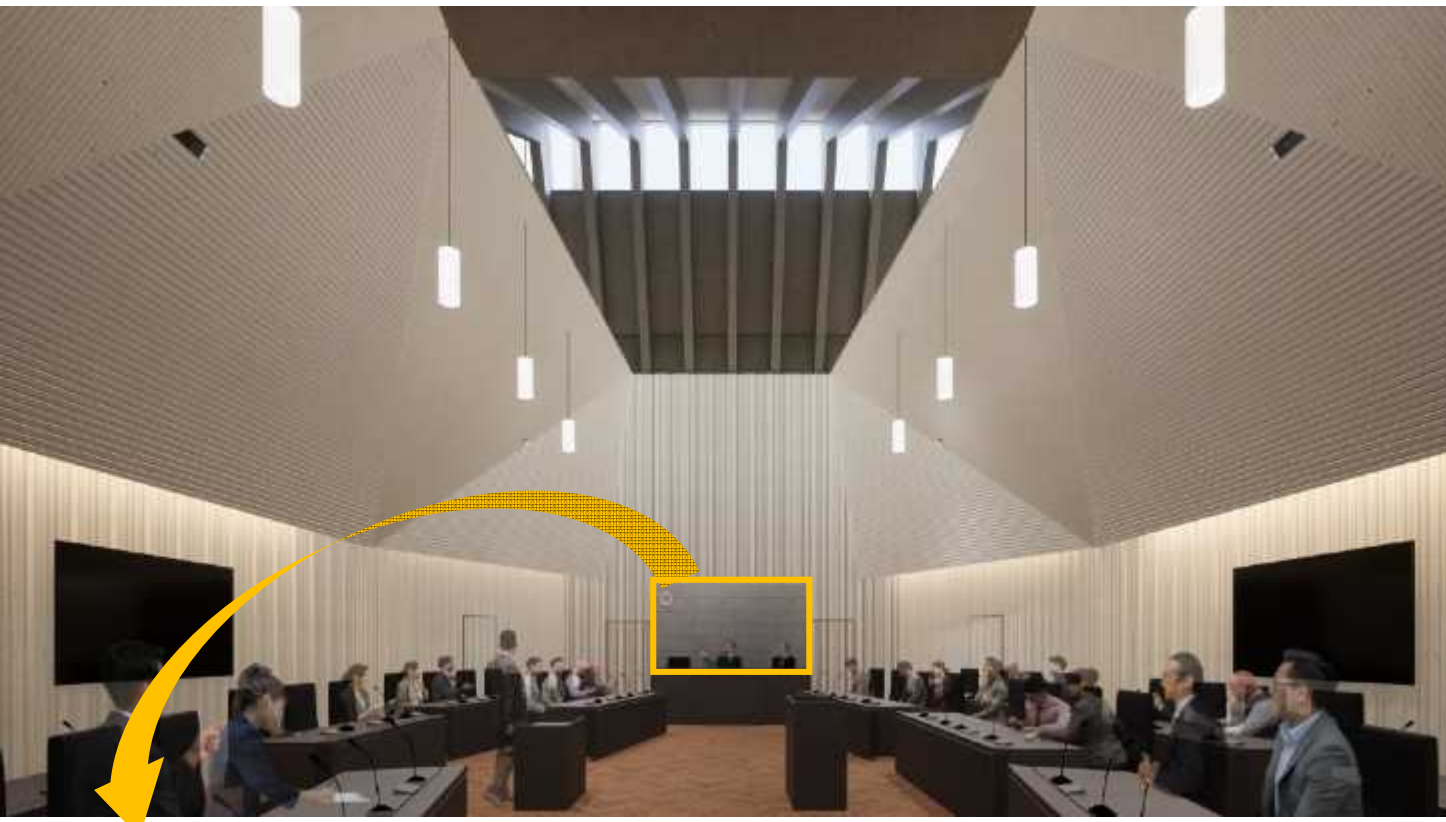
1階執務室



2階執務室

議会・ホール関連について

議場平面計画

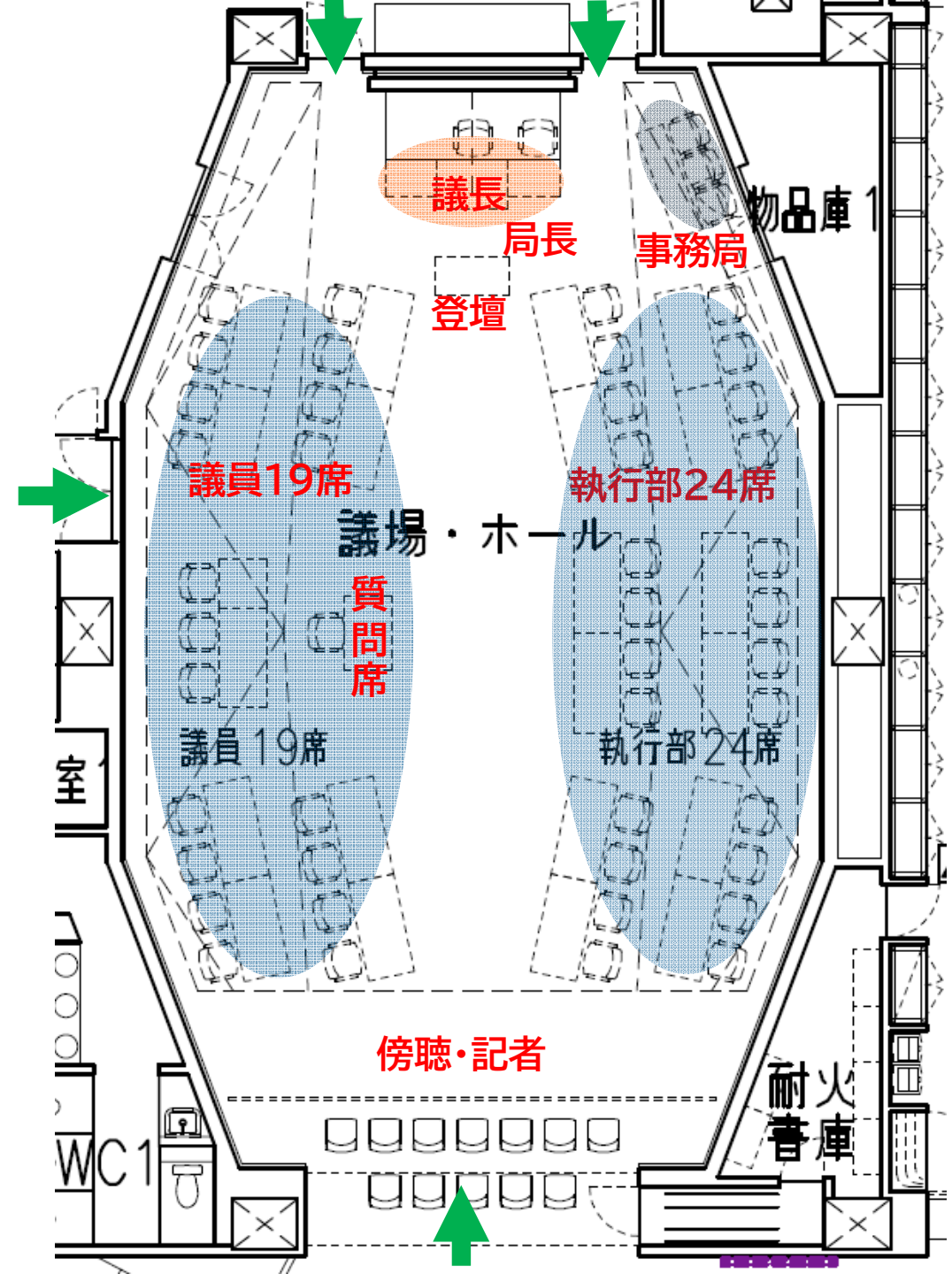


議場・ホール



※イメージです。

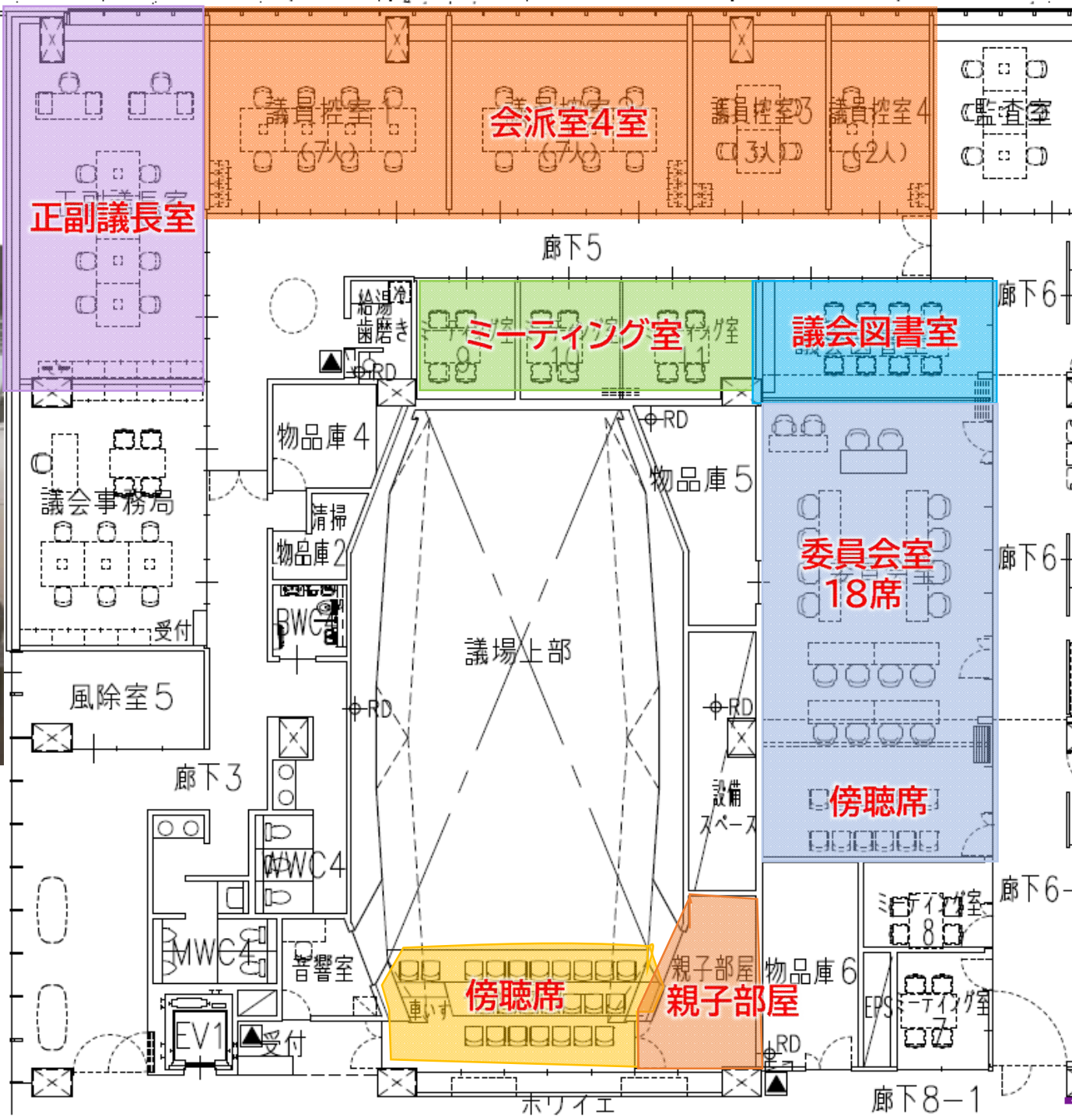
議場壁面には「登別軟石」を使用
対面配置型座席とバリアフリーの議場
資料は85インチモニターで表示
地域木材(胆振産)を活用した内装仕上げ



議会関連諸室平面計画(2階)



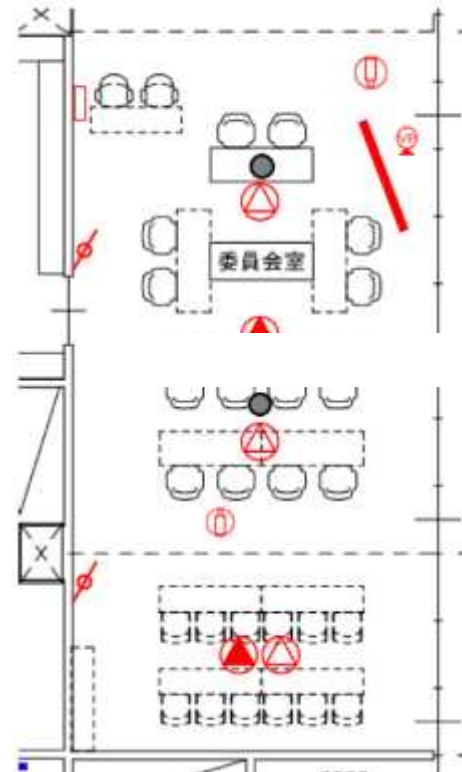
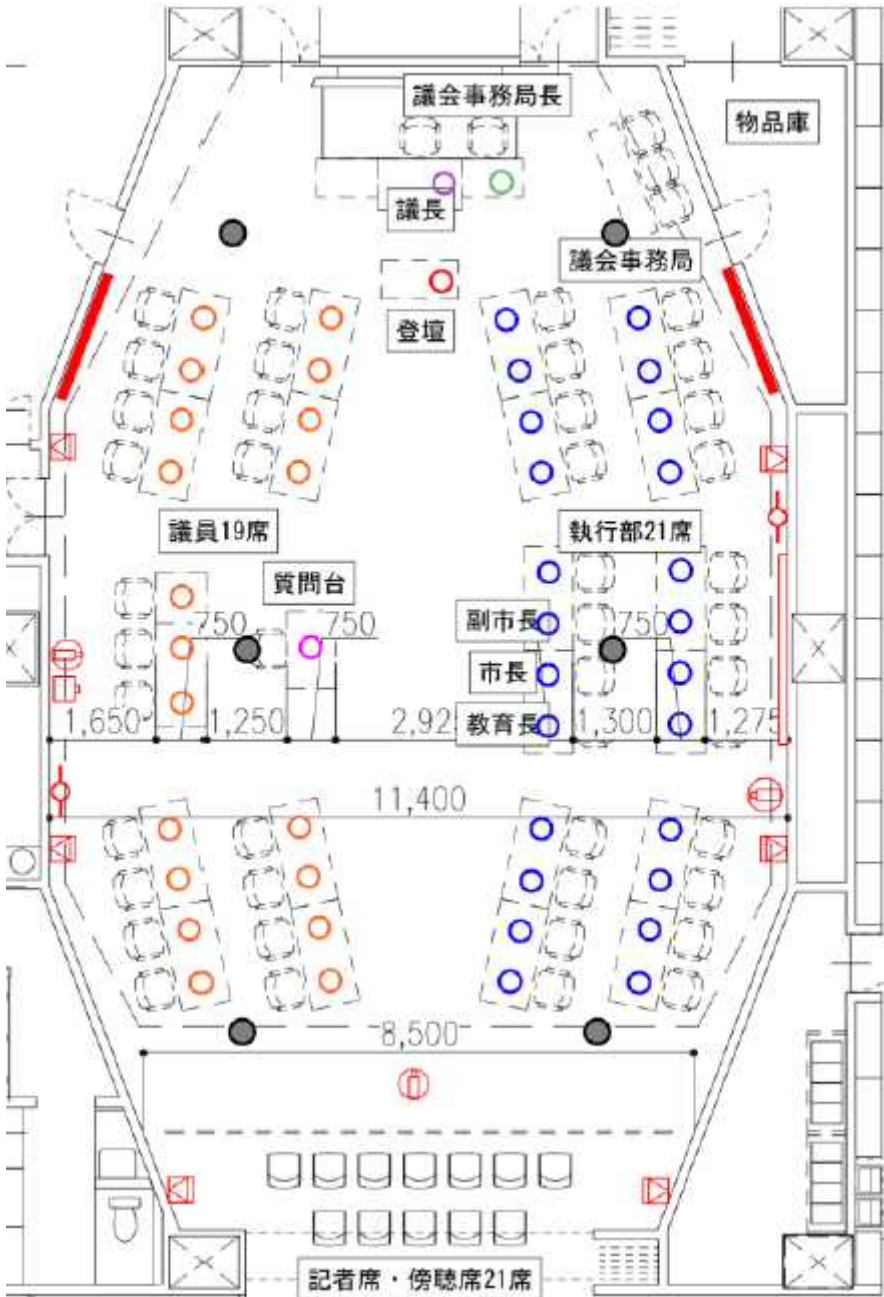
委員会室



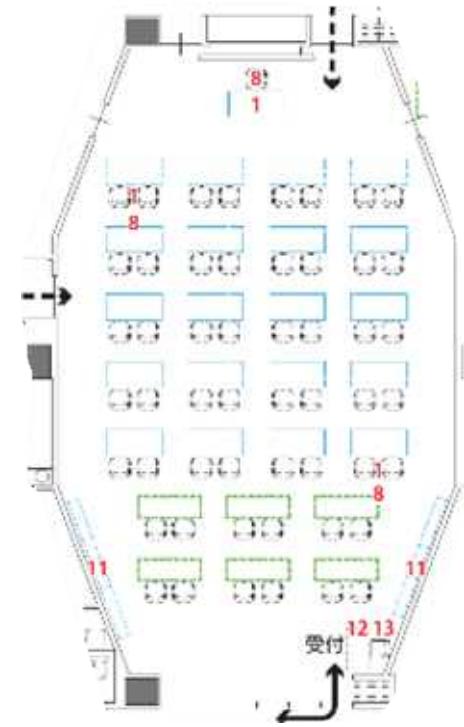
議場設備

◎主な議会システムの概要

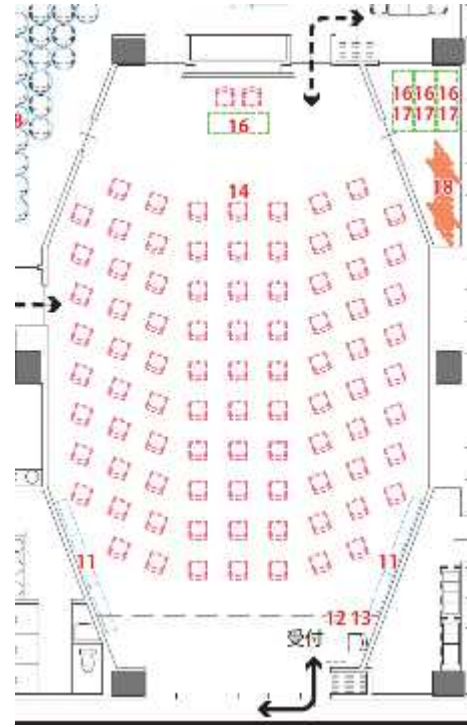
- ワイヤレスマイクシステムの採用
- 85インチモニターで視認性を向上
- 2階傍聴・親子部屋にモニター採用
- 議場・議会関連諸室は議会専用スピーカー
- 議長による優先発言の対応
- 議員の資料は議会システムにてモニター表示



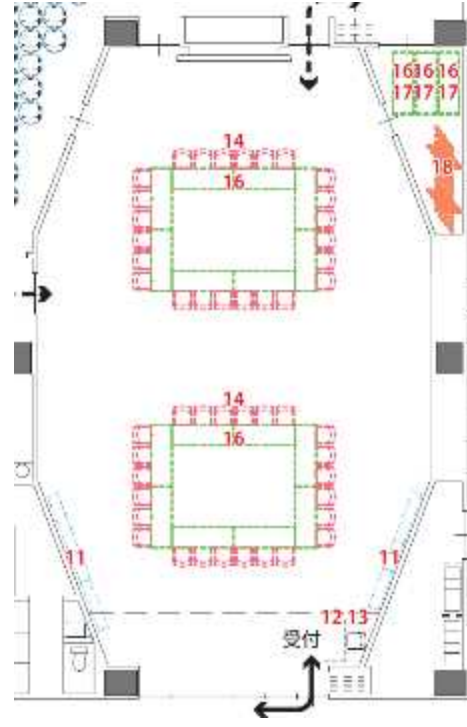
議会・ホールの多彩な運用例



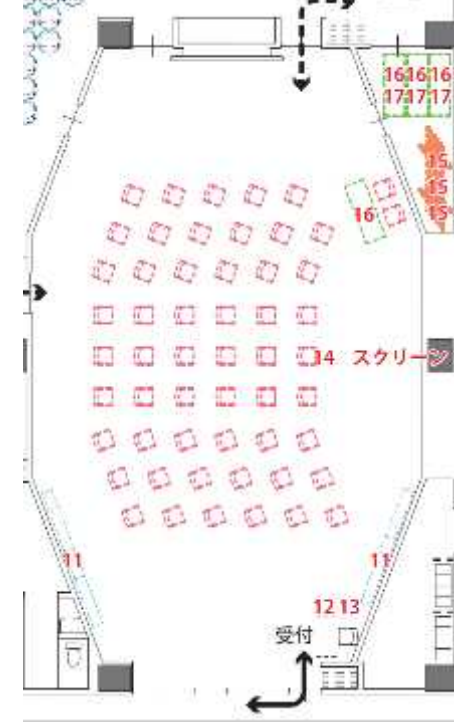
スクールタイプ
52席



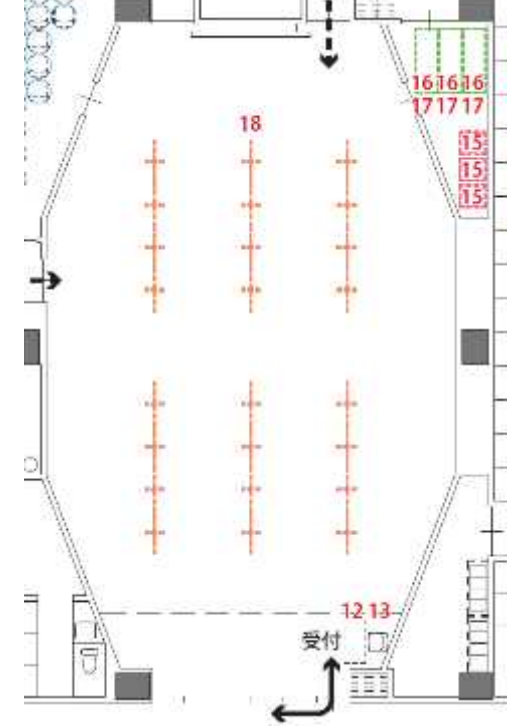
講演タイプ
86席



会議タイプ
48席



講義タイプ
53席



展示タイプ

◎主な機器等の概要

液晶プロジェクター

150型電動スクリーン

ワイヤレスマイク

2階ギャラリー・親子部屋にモニターを採用

防災機能について

防災機能について(外構)

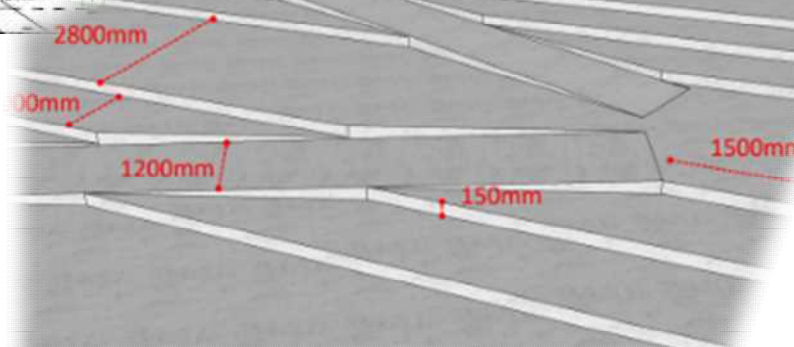
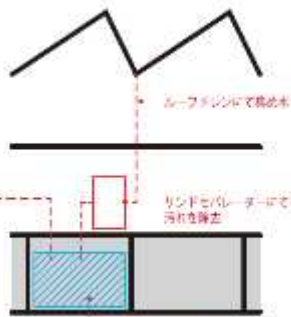
マンホールトイレ

雨水利用

ステップ広場⇒避難路

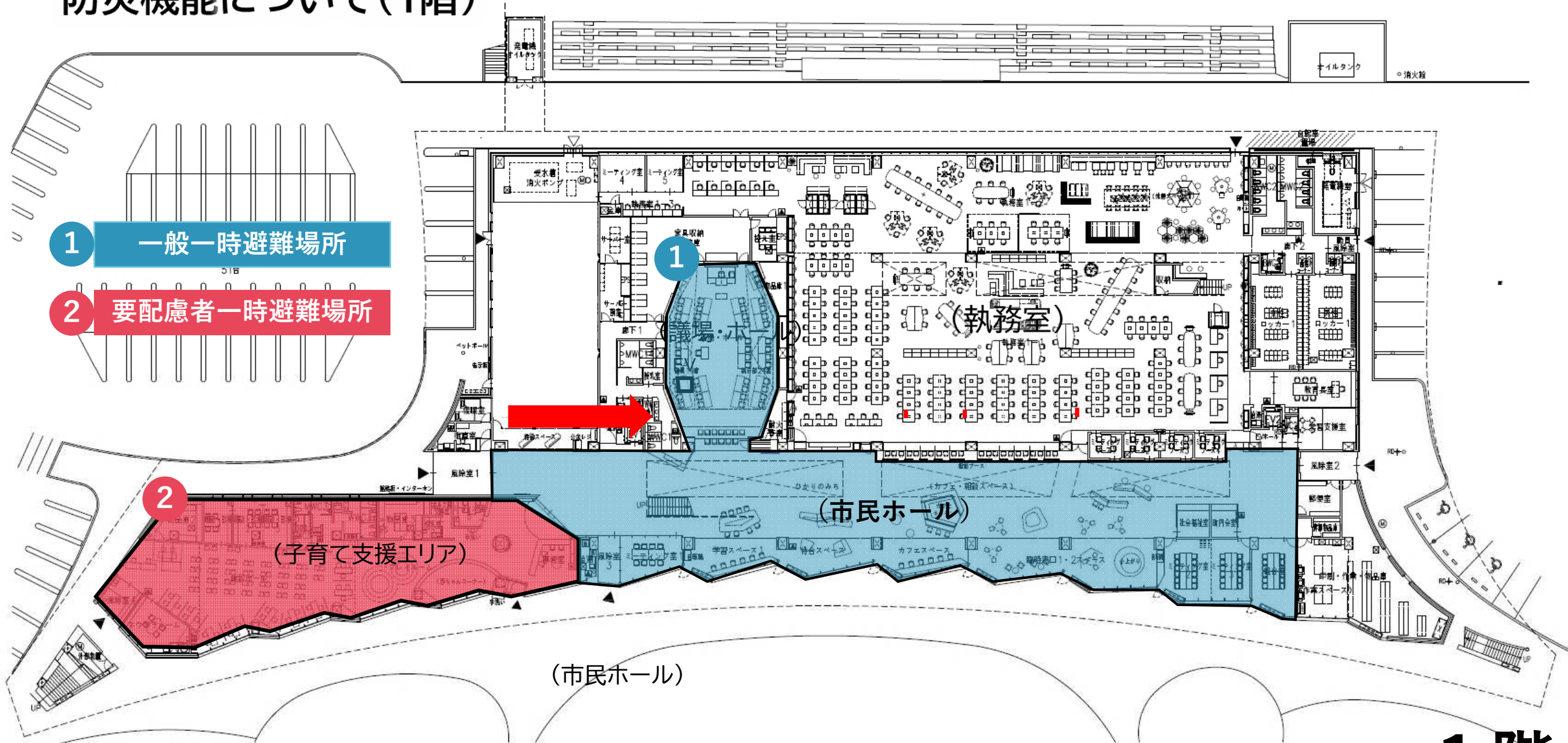
園路⇒災害支援車両

市民ひろば⇒高台避難場所



防災機能について(1階)

- ① 一般一時避難場所
- ② 要配慮者一時避難場所



防災機能について(2階)

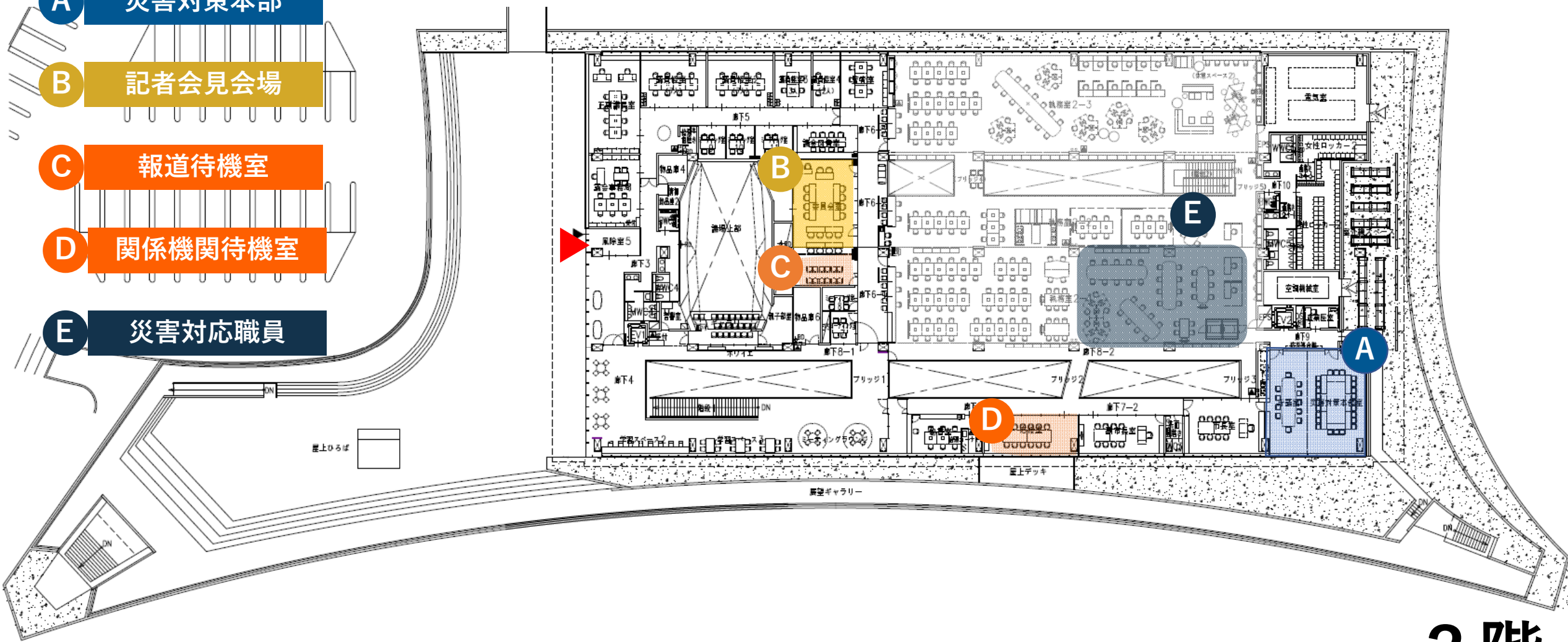
A 災害対策本部

B 記者会見会場

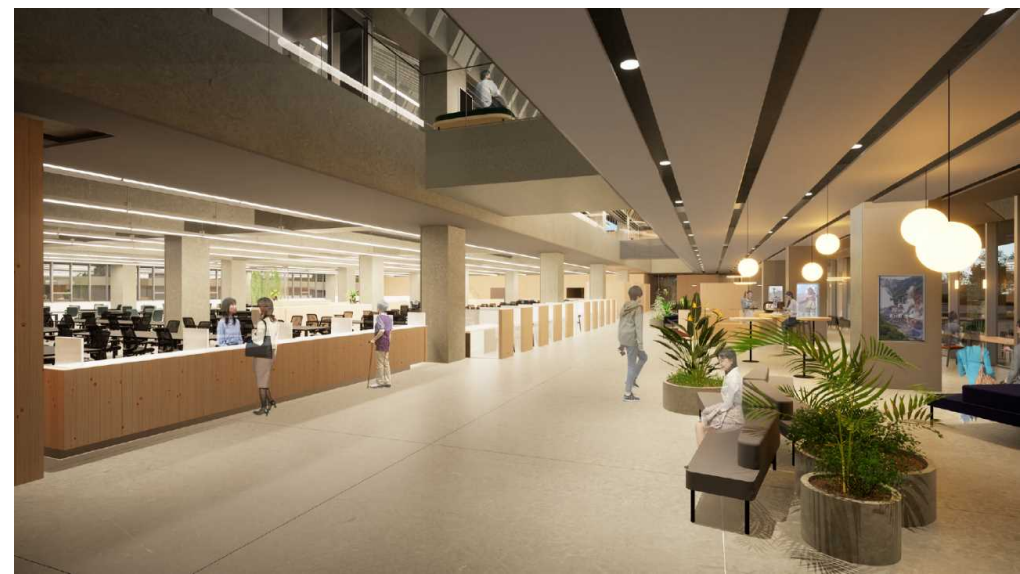
C 報道待機室

D 関係機関待機室

E 災害対応職員



面積について



各エリアの床面積

		現庁舎※1	基本設計	増減※2	実施設計	増減※2
床面積計		7,144㎡	7,120㎡	-24㎡	6,991㎡	-153㎡
内訳	執務エリア(共用部含む。)		6,270㎡		6,142㎡	
	金融機関		240㎡		244㎡	
	子育て支援エリア		550㎡		551㎡	
	その他諸室(社協窓口等)		60㎡		54㎡	

※1 現庁舎には本庁舎及び第2庁舎のほか、市民会館、しんた21及びアーニスの執務室分を含む。

※2 増減はいずれも現庁舎の面積との比較

執務エリアにフリーアドレスを採用することでコンパクト化
 ペーパーレス化による書庫の削減
 各エリアは、可能な限り個室化をせず大空間の平面計画による廊下等の最小限化
 各グループの専用窓口を共用窓口化し、ワンストップサービス窓口による市民サービス向上とコンパクトな窓口
 ひかりのみち・学習スペース・カフェスペース・ミーティングラウンジ等の市民利用部分は、ゆとりある空間を実現



現庁舎面積7,144㎡、実施設計で床面積6,991㎡より約153㎡面積縮小を実現しました。
 これにより庁舎機能を損なわずに、約127,809千円の建設費削減をしました。

事業費について



事業費について

※太陽光発電設備は除く。
※金額の単位は千円。

		基本設計	実施設計	備考
床面積		7,120m ²	6,991m ²	-129m ²
事業費		6,828,431	7,975,982	+1,147,551
事業費の内訳	庁舎建設費	5,081,010	5,877,785	+796,775
	(庁舎建設m ² 単価)	(709,076円/m ²)	(835,359円/m ²)	+126,283円/m ²
	外構工事費(概算額)	770,407	954,960	+184,553
	設計・監理・移転費等(概算額)	977,014	1,075,237	+98,223
	電波障害対策(概算額)		68,000	+68,000
財源	緊急防災・減災事業債	4,111,200	4,939,500	+828,300
	国・道の補助制度	725,460	861,185	+135,725
	その他の起債	942,900	1,088,100	+145,200
	一般財源	1,048,871	1,087,197	+38,326
最終的な市の負担額		3,172,611	3,569,797	+397,186
市の負担割合		46.5%	44.8%	-1.7%

事業費が約11.5億円増額し、一般財源は約3,800万円の増額となりますが、総事業費に占める市負担割合は1.7%減少しました。

一般財源の約10.8億円については、庁舎整備基金等を活用より確保できる見通しです。

来年度以降のスケジュールについて



今後の主なスケジュール

